

第2学年国語科学習指導案

日時 平成18年11月 2日(木)

対象 2年1組 男15名 女16名 計31名

2年2組 男15名 女15名 計30名

指導者 1組 後藤 陽子

2組 山本 貴子

1 単元名 たしかめながら読もう

教材名 一本の木 (光村図書2年(下)「赤とんぼ」)

2 単元について

(1) 教材について

学習指導要領第1学年及び第2学年の「読むこと」の目標は、「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付きながら読むことができるようにするとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる」ことである。また、「書くこと」の目標は、「経験したことや想像したことなどについて、順序が分かるように、語や文の続き方に注意して文や文章を書くことができるようにするとともに、楽しんで表現しようとする態度を育てる。」ことである。本単元の「たしかめながら読もう」では、「時間的な順序、事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと(読むことイ)」「事柄の順序を考えながら、語と語や文と文の続き方に注意して書くこと(書くことエ)」が、学年の目標に直結する指導内容である。

本単元は、文章の内容・情報を表現に即して丁寧に読み取っていく学習を中心に設定されている。また、読み取りを促す手段としてあるいはその正確さを確認する方法として、読んだ内容を絵や文章に表現していく活動が設けられている。さらに、本単元は、2年生から6年生までの各学年に設けられた情報活用単元の系列の最初に位置付けられている。言語情報の処理という観点から、情報の正確な受容・整理等を中心に、発信も含めたごく初歩的な情報活用の学習を行う単元である。従って、絵をかいったり説明書を作ったりといった「目的意識」を明確にさせ、その観点から書かれている言語情報を読み取ったり活用したりする、という方向づけをしていくことが求められる。

本教材「一本の木」は、一本の木の絵のかき方を文章と挿絵を用いて説明している。また、それだけでなく、自然にある木を見る視点も提示している。従って、教科書中の説明の順序(事柄の順序)に従って、絵を描くこと、本文と挿絵とを照合すること、など「たしかめる」活動を通してしっかりと読み取りの力を育てることができる。

(2) 児童について

児童はこれまでに、2年上「たんぼぼのちえ」において、時間的な順序を中心に読み取る学習、事柄の順序(現象と理由)の関係をとらえる学習をした。さらに、同「サンゴの海の生きものたち」では、生き物同士の共生の関係(事柄における関係)を読み取る学習をし、文章と写真とを見比べながら学習してきている。

児童は、説明文の学習に興味を持って取り組み、文中の語句に着目してその役割や意味を考えながら読もうとしたり、説明されていることから新しい知識を得ることに喜びを感じたりする姿を見ることもできる。しかし、表現に即して正しく読み取る力は十分ではなく、個人差も大きい。

発言も全員の前で発表することについては個人差があり、挙手する児童に限られ、分かっているが発言しない児童や、自分の考えをどう表現したらよいのか分からない児童もいる。また、語尾まではっきり発音できない児童もいる。そこで、ペア学習において自分の考えを必ず声に出して相手に伝えることを繰り返して、自信を持たせるようにして

いるところである。

書く力も個人差が大きく、丁寧さに欠けたり、なかなか書き進められなかったりして、支援が必要な児童がいる。

(3) 指導について

指導にあたっては、単元に入る前に「一人ずつ木の絵をかき、そのかき方について皆に説明する」という活動を行い、相手に分かる(伝わる)説明の難しさ・大切さ・必要性に気づかせたい。

導入段階では、ブルーノ・ムナーリさんの本を見せたり、教材文を読んだ初発の感想を発表しあったりして、学習への意欲を高めたい。また、単元全体のねらいを知らせるとともに、学習の見通しをしっかりと持たせたい。学習のゴールを「絵入りの説明書を作る」こととするが、書く力に個人差がある実態から一人ずつ別々なテーマで作るのではなく、全員「ムナーリさんの木のかき方」「いろいろな木の形」についての説明書としたい。

内容を読み取る段階では、まず、この教材文は「木のかき方」「いろいろな木の形」について書かれていることに気づかせたい。さらに、教材文の特徴が、接続語が使われていること、絵と文がつながっていることであることにも気づかせ、分かりやすい説明文に必要なことを考えるきっかけにしたい。「木のかき方」については、順序を表す接続語に気をつけながら、事柄の順序を意識し挿絵と照応して、読みを進めていく。また、「いろいろな木の形」については、様子を確認する手がかりとして文ごとに挿絵と照応する学習を行っていく。

一人学びとしては、接続語を線で囲ませたり、文末表現(～をかきます)(～もあります)に着目させたりしながら、絵と文を正しくつなぎ、木をかく順序といろいろな木の形について学習シートに書き抜く活動をさせたい。その際、学習シートと板書が同じ形式になるように考え、児童に分かりやすくしたい。そして、ペア学習で、自他の考えを話し方に気をつけながら交流し、さらに一斉の学び合いで、ペアで確かめ合ったことや解決できなかったことを交流し、確かな読みにつなげていきたい。

3 単元の目標

(1) 主目標

ムナーリさんの木のかき方を読み取り、木のいろいろな描き方に興味を持つ。

順序に気をつけて、説明文を書く。

(2) 観点別目標

ムナーリさんの木のかき方やさまざまな木の形に興味を持ち、絵入りの説明書を書こうとしている。(関)

「一本の木」の叙述の順序を考えながら内容を読む。(読イ)

書く事柄の順序を考えながら、語と語や文と文との続き方に注意して書く。(書工)

4 単元の指導計画・評価計画 (全12時間)

主な学習活動 (時数)	評価規準 (方法)	具体的評価規準及び指導・支援の手立て	
		おおむね満足できると判断する視点	努力を要する児童への指導・支援の手立て
1 ・全文を通読して、木のかき方や木の形に興味をもち、感想を発表したり書いたりし、学習のすすめ方と絵入り説明書を作ることを知る。 ・新出漢字を練習する。 ・段落(話題提示)の筆者の呼びかけを読み取る。 (2)	関 ムナーリさんの木のかき方やさまざまな木の形に興味をもち、絵入りの説明書を書こうとしている。 (発言・観察)	ムナーリさんの木のかき方やさまざまな木の形に興味をもって感想を書き、絵入りの説明書を書くことが分かる。	教科書のムナーリさんの木の絵に注目させ、興味をもたせる。

<p>2 - ムナーリさんの木のかき方を順序に従って読む。 (1) 1組本時</p>	<p>読 文章と絵のつながりに気づき、順序に従い「木のかき方」を読み取っている。 (発言・シート)</p>	<p>順序を表す言葉や文末表現を手がかりに、どんな枝をかくのかを捉え、学習シートに書き込んでいる。</p>	<p>文末表現「かきます。」 「かいて」を見つけさせる。</p>
<p>2 - 木が育っていく時のきまりを知る。 (1)</p>	<p>読 木の形(幹と枝)について書かれていることに気づき、育つきまりを読み取っている。 (発言・シート)</p>	<p>「みき」「えだ」の言葉に着目し、木が育つきまりについて読み取っている。</p>	<p>本物の木(写真)の幹や枝と言葉を対応させながら考えさせる。</p>
<p>2 - いろいろな木の形を絵とつなげて読む。 (1) 2組本時</p>	<p>読 絵と文章を正しくつなげて、「いろいろな木の形」を読み取っている。 (発言・シート)</p>	<p>絵と文章をつなげながら、それぞれの「みき」と「えだ」の特徴を、学習シートに書き込んでいる。</p>	<p>木の形を示す言葉と絵を一つずつ対応させ、絵と文がつながっていることに気づかせる。</p>
<p>2 - 全文を読んで、「木のかき方」と「木の形」が書かれている文章であることを確かめる。 (1)</p>	<p>読 これまでの学習をまとめて、文章全体の構成と文章の書かれ方を理解している。 (発言)</p>	<p>前時まで書いていたシートを並べてみることにより、「木のかき方」と「木の形」が書かれている文章であることが分かる。</p>	<p>板書・シートを比べ、何について書いてあるのか考えさせる。</p>
<p>2 - 前時の学習をふり返り、分かりやすい説明文について確かめる。 (1)</p>	<p>読 分かりやすい書き方という観点で振り返り、自分たちの書く活動に見通しを持っている。 (発言・観察)</p>	<p>順序を表す言葉や絵と文章が合っていると分かりやすいことに気づき、発言している。</p>	<p>教材文の順序を表す言葉に着目させたり、学習シートを見直させたりする。</p>
<p>3 - 説明書を作る学習であることを確かめ、ムナーリさんの「木のかき方」「木の形」について絵入りの説明書を作る。 (4)</p>	<p>書 ムナーリさんの木のかき方と木の形について理解し、絵と文をつなげて説明書を作っている。 (カード・観察)</p>	<p>絵と文が確かにつながるように、順序よく説明書(カード)を作っている。</p>	<p>説明書(カード)の枚数と説明の順序を確かめさせる。</p>
<p>3 - 完成した説明書を読み合い、感想を交流しよう。 (1)</p>	<p>読 分かりやすい説明文についての観点到った感想を持っている。 (発言・観察)</p>	<p>順序よく書いてあるか、絵と文があっているかについて気をつけて読み、感想をもっている。</p>	<p>分かりやすい説明文について、再度確かめる。</p>

5 本時の指導(1組) 5/12時間

(1) 目標

ムナーリさんの木のかき方を、順序に従って読むことができる。

(2) 仮説との関連

手立て1に関わって

・一人学びでは、どんな順序でどんな枝をかいていくのかをおさえるために、順序を表す言葉と「～をかきま

す」という文末表現を手がかりにして、学習シートに合う言葉を書き込む。

・学び合いでは、木をかく順序とかき方を確認したり修正したりするために、ペア学習で考えを交流し合い、一

手立て2に関わって

・どの段落がどの絵を説明しているのか確かに理解させるために、文と挿絵を結びつける活動をする。

(3) 展開

段階	学習活動 主発問 ・予想される児童の反応	教師の支援 (評価)
つかむ 5分	1 前時の学習内容を想起する。 2 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">ムナーリさんの木のかき方を読みとろう。</div>	・前時までの学習を思い起こさせ、本時の学習内容を確認する。(掲示を利用する。)
ふかめる 35分	3 課題解決の見通しを持つ。 (1) 本時の学習範囲を音読する。 (P 3 8 ~ P 4 0 L 4) ~ 段落 (一斉読) (指名読) (2) 課題解決のための着眼点を考える。 4 学習課題を解決する。 (1) 形式段落 は、それぞれどの絵とつながっているか考える。 (2) 形式段落 に書かれている木のかき方の順序を考える。 「まず」、何を「かきます」か。 ・地面からのびる一本の太い幹です。 「つぎに」、何を「かきます」か。 ・二本に分かれた枝です。 (3) 形式段落 に書かれている木のかき方の順序も考える。 に説明してある枝のかき方についても、同じようにして考えましょう。(一人学び) シートに書いた言葉について、ペアで考えましょう。(ペア学習) ペアで確かめた言葉について、みんなで考えましょう。(一斉学習) ・では、また二本に分かれた枝をかきます。 ・では、二本ずつだんだん分かれていく枝をかきます。 枝のかき方について、くわしく読み取っていきましょう。 ・二本ずつ分かれる。	・全員で声を出して読むことにより、学習範囲を意識させたい。 ・順序を表す言葉(まず、つぎに、そのつぎに、同じようにして)を探しながら聞くようにさせる。 ・順序を表す言葉が4つあることを確かめ、教科書の言葉を線で囲ませる。 ・絵をかく順序が表されていることを確かめる。 ・全文視写文を黒板に提示し児童と一緒に確かめながら絵と文をつないでいくようにする。 ・児童は、教科書に記入するようにさせる。 ・段落について、「～をかきま
		す」に着目させながら、それぞれ「幹」「二本に分かれた枝」をかくことを全員で考えさせ、シートに書かせる。この活動をもとに一人学びに入らせる。 ・段落の文末は「～かいて」になっていることを確かめておく。 ・学習シートの空欄に当てはまる言葉を絵や教材文から考えながら記入させる。
		おおむね満足できると判断する視点 文末表現に着目しながら、どんな枝をかくのかを捉えてシートに書き込むことができたか。(学習シート)
		【支援】 「かきます」「かいて」という表現を見つけさせるようにする。 ・説明されている「枝」は、どのえだなのか絵と照合させながら確かめるようにする。

	<ul style="list-style-type: none"> ・前の枝の先から分かれる。 ・二本の枝の長さは同じ。 ・前の半分の太さ。 <p>5 課題についてまとめる。 読み取ってシートに記入したことをもとにして木のかき方を確かめましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師が黒板にかくようにする。1段階ずつ色を変えながらかくようにする。 ・段落で説明されている木の絵を用意し、色々な季節を表せることに気づかせる。
<p>まとめ 5分</p>	<p>6 学習のまとめをする。 (1) まとめの音読をする。(指名読) (2) 本時の学習を振り返り、自己評価する。</p> <p>7 次時の学習の見通しを持つ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・木の絵と見比べながら聞くようにさせる。

(4) 評価規準

【読む能力】ムナーリさんの木のかき方を、順序に従い、絵と文をつなぎながら読み取っている。

(5) 板書計画

木の絵

同じようにして

二本ずつだんだん分かれていく

細く

みじかく

えだ

をかきます。



また

二本に分かれた

同じ長さ

みきの半分の長さ

少しみじかく

えだ

をかきます。



そのつぎに

二本に分かれた

同じ長さ

みきの半分の長さ

えだ

をかきます。



まず

一本の太い

みき

をかきます。

えだ

をかきます。



一本の木

ムナーリさんの木のかき方を知ろう。

い
わ
さ
き
き
よ
し

5 本時の指導(2組) 7/12時間

(1) 目標

木の形にはどのようなものがあるかを知り、説明の文章と挿し絵を結びつけて読むことができる。

(2) 仮説との関連

手立て1に関わって

- ・一人学びでは、大切な言葉を落とさず木の形の説明できるようにするために、どの文と挿絵がつながっているのかを見つけて学習シートに書き込む。
- ・学び合いでは、さまざまな木の形について確認したり、修正したりするために、ペア学習で考えを交流し合い、一斉学習でまとめていく。

手立て2に関わって

- ・どの文がどの木の形を説明しているのかが確かに理解させるために、文末表現「～木もあります。」に着目させながら、文と挿絵を結びつける活動をする。

(3) 展開

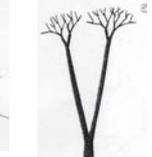
段階	学習活動 主発問 ・予想される児童の反応	教師の支援 (評価)
つかむ 5分	1 前時の学習内容を想起する。 2 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">いろいろな木の形について読みとろう。</div>	・前時までの学習を思い起こさせ、本時の学習内容を確認する。 (掲示を利用する。)
ふかめる 35分	3 課題解決の見通しを持つ。 (1) 本時の学習範囲を音読する。 (P 4 0 L 1 0 ~ P 4 2) ~ 段落 (一斉読) (指名読) (2) 課題解決のための着眼点を考える。 4 学習課題を解決する。 (1) アの絵に合った説明の文を見つける。 アの木を説明している文を、 の段落から見つけましよう。 ・えだが二本ずつに分かれる木でも、みきがとても長くてえだがみじかい木があります。 ・みきがとても長くて、えだがみじかい木があります。 (2) 他の木の絵についても考える。 (3) 木のさまざまな形について、絵と文をつなぎながら考える。 見つけた文と絵をつなげて、わかりやすく学習シートにまとめていきましょう。 他の木についても、わかりやすく学習シートにまとめていきましょう。	・全員で声を出して読むことにより、学習範囲を意識させたい。 ・学習範囲に木の絵がいくつあるかを数えさせる。 ・挿絵とそれを説明する文章を教材文から見つけ、つなげながら読み取っていくことを知らせる。 ・教科書に見つけた文を指でなぞらせ、音読させる。 ・教科書に記入するようにする。アについて、全員で考えさせることにより一人学びの仕方を確認する。 ・イ～キの絵も同じように、挿絵と文章をつなげさせる。 ・黒板に文章を書いた模造紙をはり、絵とつなげる。 ・「みき」「えだ」の名称や、「長さ」「えだの分かれ方」など様子を表す言葉を確認しながら書かせる。 ・ア～エについては、教師と一緒に学習シートに記入をしていく。 ・黒板にはった絵と照合しながら、学習シートに書かせる。 ・まとめた学習シートの絵を指差ししながら、絵の説明の文を読ませる。 ・オ～キについては、各自で学習シートにまとめさせる。
	(一人学び) (ペア学習) (一斉学習) (一斉学習)	おおむね満足できると判断する視点 絵と文章をつなげながら、それぞれ

	<p>5 課題についてまとめる。</p> <p>みんなで確かめましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この木は、みきやえだが、くねくねまがっている木です。 ・この木は、もっと多くのえだに分かれる木です。 ・この木は、みきのとちゅうからえだがよこに出ている木です。 	<p>れの「みき」と「えだ」の特徴を、学習シートに書き込むことができたか。</p> <p>【支援】</p> <p>木の形を示す言葉と絵を一つずつ対応させ、絵と文がつながっていることに気づかせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習シートに書き込んだ言葉を確認しながら、それぞれの木の絵の説明をさせる。 ・黒板や学習シートの言葉を見て、確認しながら、木の説明ができるようにさせる。 ・時間があれば、カの木の説明の文を考えさせたい。 <p>例：「この木は、えだが六本に分かれている木です。」</p>
<p>まとめ 5分</p>	<p>6 学習のまとめをする。</p> <p>(1) まとめの音読をする。(指名読)</p> <p>(2) 本時の学習を振り返り、自己評価する。</p> <p>7 次時の学習の見通しを持つ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめた学習シートの絵を指差しながら読ませる。

(4) 評価規準

【読む能力】絵と文章を正しくつなげて、「いろいろな木の形」を読み取っている。

(5) 板書計画

<table border="1"> <tr> <td>えだが</td> <td>みきの</td> </tr> <tr> <td>よこに出ている</td> <td>とちゅうから</td> </tr> </table>	えだが	みきの	よこに出ている	とちゅうから	<table border="1"> <tr> <td>もっと多くのえだに</td> </tr> <tr> <td>分かれる</td> </tr> </table>	もっと多くのえだに	分かれる	<p>えだの分かれ方がちがう木</p>	<table border="1"> <tr> <td>えだが</td> <td>みきや</td> </tr> <tr> <td>くねくね</td> <td>まがっている</td> </tr> </table>	えだが	みきや	くねくね	まがっている	<table border="1"> <tr> <td>えだが</td> </tr> <tr> <td>下をむいて、のびる</td> </tr> </table>	えだが	下をむいて、のびる	<table border="1"> <tr> <td>二本のえだの長さが同じではない</td> </tr> </table>	二本のえだの長さが同じではない	<table border="1"> <tr> <td>ほかのえだは</td> <td>はじめのえだが</td> <td>みきは</td> </tr> <tr> <td>ぜんぶみじかい</td> <td>長くて、</td> <td>みじかくて</td> </tr> </table>	ほかのえだは	はじめのえだが	みきは	ぜんぶみじかい	長くて、	みじかくて	<table border="1"> <tr> <td>えだが</td> <td>みきが</td> </tr> <tr> <td>みじかい</td> <td>とても長くて、</td> </tr> </table>	えだが	みきが	みじかい	とても長くて、	<p>えだが二本ずつに分かれる木</p>	<p>七つ いろいろな木の形について絵と文から読みとろう。</p>	<p>一本の木</p>
えだが	みきの																																
よこに出ている	とちゅうから																																
もっと多くのえだに																																	
分かれる																																	
えだが	みきや																																
くねくね	まがっている																																
えだが																																	
下をむいて、のびる																																	
二本のえだの長さが同じではない																																	
ほかのえだは	はじめのえだが	みきは																															
ぜんぶみじかい	長くて、	みじかくて																															
えだが	みきが																																
みじかい	とても長くて、																																
<p>木</p> 	<p>木</p> 	<p>木</p> 	<p>木</p> 	<p>木</p> 	<p>木</p> 	<p>木</p> 	<p>いわさき きよし</p>																										